

まるごとだより 第6号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



「人・生きもの にぎわう農村フォーラム“2008”」を開催

去る、11月23日(日)に野洲文化ホールにて、地域のみなさんが主役となり人も生きものも元気で、自然豊かな心安らく農村づくりをめざして「人・生きもの にぎわう農村フォーラム“2008”～にぎわいある農村をみんなで守り育てよう～」を開催しました。約500名の参加をいただき盛大に開催することができました。ありがとうございました。

優良活動組織の表彰や、特別講演、受賞組織からの活動事例報告を行いました。また、平成19年度活動事例紹介として、各地域で実施された活動状況をパネルにして会場に展示しました。

目次

☆人・生きもの にぎわう農村フォーラム“2008”を開催

☆わたしたちも
がんばっています。パート1
「中区水と緑を守る会」
(西浅井町)

☆わたしたちも
がんばっています。パート2
「土田区みどりネットワーク」
(多賀町)

☆「いつまでも住み良い農村で
あるために」
～まるごと～は未来につなぐ
メッセージ～
(甲賀市)

発行 (2008.12)

滋賀県世代をつなぐ農村
まるごと保全地域協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地
水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806

FAX 0748-42-5574

Email: kyougikai@shiga-
nouson-marugoto.com



【開会式】



【表彰式】



【事例報告(知事賞・小佐治環境保全部会)】



【事例報告(協議会会長賞・水土里を守る会新旭地区)】



【活動事例紹介(パネル展示)】



【魚のゆりかご水田プロジェクトの紹介】

お知らせ

◆農村まるごと保全技術研修会を開催します。

《パート3》
「広報誌による情報発信の取り組みを進めよう! (仮称)」

※日時: 1月24日(土)
13:30~16:30
※場所: 藤樹の里
文化芸術会館
(高島市安曇川町)

《パート4》
「濁水ゼロに挑戦する取り組みを進めよう! (仮称)」

※日時: 2月7日(土)
13:30~16:30
※場所: 豊積の里
総合センター
(野洲市比留田)

詳しい内容が決まり次第、チラシ等でご案内します。
多数、ご参加ください。

質問コーナー

(質問)
排水路等の破損施設の改修について、業者と請負契約はできるのか。

(答え)
業者へ委託する場合は、活動組織の構成員が必ず参加し、作業を行うこととし、機械の借り上げや、オペレータを業者に協力してもらおう形態としてください。

ただし、大規模な改修が必要となる場合は、関係市町、県に事前に相談をお願いします。



人・生きもの にぎわう農村フォーラム“2008”

今回の「人・生きもの にぎわう農村フォーラム“2008” ~にぎわいある農村をみんなで守り育てよう~」は、優良地区の表彰では、知事賞、協議会会長賞、協議会支部長賞に加え、新たに広報・にぎわい・農産物ブランド化・みずすましの各部門賞を設け、それぞれ大賞、優秀賞が贈られました。

特別講演では「田舎のヒロインが時代を変える」と題し、NPO法人 田舎のヒロイン わくわくネットワーク理事長 やまざき ようこ氏(福井県坂井市三国町在住)から、自らの体験と海外で得た情報をまじえ、農村での女性の活躍と女性の力のすばらしさについて講演いただき、これからの取り組みに大変参考になったと思います。

その後、知事賞を受賞された「小佐治環境保全部会」と地域協議会会長賞を受賞された「水土里を守る会新旭地区」から活動報告をいただきました。

みなさんの今後の取り組みに役立てていただければ幸いです。



【特別講演(やまざき ようこ氏)】

★受賞された活動組織のみなさんです★

滋賀県知事賞……………小佐治環境保全部会 (甲賀市)
地域協議会会長賞……………水土里を守る会新旭地区 (高島市)
地域協議会大津支部長賞……………大比良まるごと保全の会 (大津市)
湖南支部長賞……………堤青空ネットワーク (野洲市)
甲賀支部長賞……………菩提寺ふるさとを守る会 (湖南市)
東近江支部長賞……………きぬがさ楽土会 (東近江市)
湖東支部長賞……………榆町環境まちづくりの会 (彦根市)
湖北支部長賞……………高橋農村環境保全活動組織 (長浜市)
高島支部長賞……………いきいき農村“しらたに”をつくる会 (高島市)
広報部門 大賞……………瓜生津エコ東雲会 (東近江市)
優秀賞……………鶺川みずすましネット (竜王町)
優秀賞……………八島まるごと保全隊 (長浜市)
にぎわい部門 大賞……………岩根地域水と緑を守る会 (湖南市)
優秀賞……………難波まるごと環境保全委員会 (長浜市)
農産物ブランド化部門大賞……………榑崎保全隊 (多賀町)
優秀賞……………鮎河すごいええのう保全隊 (甲賀市)
みずすまし部門 大賞……………中野農村環境保全委員会 (虎姫町)
優秀賞……………志那中環境を守る会 (草津市)

受賞組織のみなさんおめでとうございます。

(※ 受賞組織の概要や、農村まるごと推進委員会の小林圭介委員長の優良地区選考の講評をホームページに掲載しています。ご覧ください。)

☆受賞組織からの一言☆

区民全員の協力のおかげ。今まで手を入れていなかった水路の泥上げや、草刈りもこの対策によって行うことができた。今後も環境を守り、安心安全な農作物をつくるために継続していきたい。(滋賀県知事賞 小佐治環境保全部会 橋本 勉さん)

わたしたちもがんばっています！

～パート1～

中区水と緑を守る会(西浅井町)

会長 杉林 太

中区は西浅井町の北に位置し、付近には水源の森100選にも指定された『山門水源の森』があり自然の恵み豊かな農村風景が広がる集落です。

当区の対象面積は25ヘクタールと小規模で高齢化の進展により保全活動を持続的に取り組むことが難しい状況になっています。

昨年「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」が始まり、施設の管理等の基礎部分、農地・水向上活動は従前にも増して活動しておりますが、特に農村環境向上活動に力を入れて活動しています。「濁水ゼロに挑戦し、水田からの負荷軽減を実施する取り組み」では、濁水防止看板を設置し、代掻き・田植期には当会の役員がのぼり旗



を持ち、濁水止水板の設置を各農家へ指導にまわり、琵琶湖に濁水を流さないよう呼びかけています。本対策も2年目になり農家の環境意識も大分変わってきていると感じます。

また、「豊かな田園の生きものを育む取り組み」にも力を入れており、私の子どもの頃は初夏になると蛍が乱舞し言葉では言い表せないくらい幻想的な光景でしたが、最近は蛍の数も少なくなってきました。そこで、蛍が生息している排水路では、生息環境に悪影響を与えないよう泥上げ、また草刈りに配慮し、蛍の住める環境づくりを進めています。まだ2年目ですので目に見えて蛍は多くありませんが、この対策を通じこの地域の豊かな自然環境と、田園風景を10年後、20年後にも引き継いでいければと思っております。



各地域の取組



農道の路面補修
〔北脇ゆうゆうグリーンクラブ〕
(甲賀市)



集落総出で泥上げ
〔難波まるごと環境保全委員会〕
(長浜市)



生きもの勉強会
〔比留田ふるさとを守る会〕
(野洲市)



コスモス田でのコスモスマつり
〔野田湧上の郷〕
(近江八幡市)

※みなさんからの情報提供をお待ちしています。

わたしたちもがんばっています！

～パート2～

土田区みどりネットワーク(多賀町)

代表 土田 卯之輔

土田区は、多賀町の西部に位置する比較的平坦な地域で、水稻に適した優良農地が広がる田園地帯です。戸数は約130戸、内3分の1が農家です。

活動対象農地の面積は55ヘクタールあり共同活動と営農活動に取り組んでいます。組織は、自治会をはじめ15の団体で構成され、広範囲の地域住民が共同活動に参加しています。

生態系保全活動では、子ども会による蛍の観察会。景観形成活動では、そばやコスモスの景観作物を植え、満開のコスモス畑では福祉会を開催し高齢者の憩いの場となりました。また、キャッチフレーズ入り啓発看板も設置し田園景観のPRに取り組んでいます。



〔啓発看板の設置〕

営農活動では、営農生産組合や認定農家を中心となり、20年度は約27ヘクタールの「環境こだわり農産物」の作付となり(こだわり米17.5ヘクタール、こだわりそば8ヘクタール、こだわり人参・ミニトマト1.5ヘクタール)、「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」がはじまり、取組面積・取組農家とも約3倍に拡大しました。

こだわり米では、町内ではめずらしい、紙マルチ(防草シート)による水稻の無農薬栽培が一部で実施されました。

多賀町では、町内で栽培されるそばは、全て環境こだわり農産物とし、そばのブランド化に向けて取り組んでいます。当地区も高品質そばの生産に積極的に取り組み、ブランド価値を上げていきたいと思っています。



〔子ども会による清掃活動〕

おねがい

※インターネットを活用したメルマガ「にぎわい通信」を発行しています。

研修会や、地域の情報などをお知らせしています。ご希望の方は下記アドレスまでご連絡ください。

kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

(組織からの感想)

いつも興味ある案内をお知らせしていただきありがとうございます。

(東近江市 Mさんより)

※「うちの組織ではこんな活動してみんなよろこんでくれた。」「うちの町でこんなユニークな取り組みをやっている。」というところがあればお知らせください。お待ちしております。



編集後記

落ち葉が風に舞い、冬は駆け足でやって来よう。急に寒さが増してきたように思います。

かぜ薬のコマーシャルや、クリスマスのイルミネーションも見かけるようになり、これから、何かにつけて慌たしくなりそうです。

(H.T)

●書類作成にかかる参考資料や、活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

滋賀県

世代をつなぐ農村まるごと
保全地域協議会

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

甲賀市の取り組みを紹介します。



「いつまでも住み良い農村であるために」

～「まるごと」は未来につなぐメッセージ～

農業振興課

忍者の里「甲賀」の里山も、鮮やかな紅葉に染まり晩秋の気配を感じる頃となりました。

私たちのまち「甲賀市」は、本年2月23日に開通しました新名神高速道路の3つのインターチェンジを活用した「新しいまち」へと日々進化を続けています。

その一方では、温暖な気候と「ずりんこ」と呼ばれる独特な重粘土質の土壌から古くより良質なうるち米とともに、滋賀はぶたえもち羽二重糯の生産地として、また気温の差が大きい山間部においては、茶の産地として広く全国に知られています。

市内の耕地面積は、5,384ヘクタールで、4,420ヘクタールの水田と964ヘクタールの畑地があり、約4,100戸の農家が従事されていますが、近年の高齢化に伴う後継者不足等により、年々農家数が減少する反面、耕作放棄地が増加するなど優良農地の維持保全に対する新たな課題が生まれています。

このような現状を打開する意味でも「まるごと」の取り組みは大変意義深いものであり、多くの活動組織が「自分たちの農村は自分たちの手で」をモットーに名乗りを挙げ、取り組んでいただいています。

現在、共同活動には、市内142農業集落の内、96集落で2,418.1ヘクタールの協定農用地面積において、環境に配慮したそれぞれの特徴のある取り組みが進められています。特に本市においては、県下でもサルやシカ、イノシシといった獣害による農作物への被害が多く、深刻な問題となっていることから、支援金を活用した防護柵の設置事業や、また高低差の大きい圃場が多い地形のため、最新草刈機の導入による畦畔の管理を図るなど地域の皆さんの創意と工夫によって活発な取り組みが進められています。

また、営農活動については、80集落において1,506.9ヘクタールで水稻をはじめとするこだわり農産物の作付が実施され、消費者からのより安全で安心な食への

志向が高まる中であって、農家自らが率先して環境こだわり農産物の必要性を理解し、作付面積の拡大に繋がっているものであります。

このような取組が評価され、11月23日開催の「人・生きものにぎわう農村フォーラム“2008”」において、「小佐治環境保全部会」が滋賀県知事賞を、また「鮎河すごいええのう保全隊」が農産物ブランド化部門で優秀賞を受賞するという栄誉に輝かれました。

「いつまでも住み続けたい、住んで良かった。」と思えるまちを、将来を担う子どもたちに魅力ある農村のまま引き継ぐ事が、現在を生きる私たちの責務であると思います。そういった事からも、市民の皆さんと共にこの「まるごと」の取組が広く普及するよう努めて参りますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。



【長大法面の草刈り】



【獣害防護柵の前で行う水路の泥上げ】